

**興味はあるけれど、若年層の約7割がモノづくり現場を知らないという現実  
20・30代が求めているのは、精神論ではなく、  
一段ずつ成長できるという「納得感」**

金属加工や空間デザインから施工までをワンストップで手掛けるステンレス株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役：福田祐一、以下当社）は、モノづくり業界に対するイメージと実態の乖離を明らかにするため、全国の20代～30代の男女を対象としたWebアンケート調査を実施しました。

近年、製造や建築などのモノづくり業界では、若年層の入職者不足が深刻な経営課題となっています。その一方で、情報収集のデジタル化が進む中、業界の魅力や現場のリアルな実情が、求職者側に正しく届いていない可能性や、先入観によるミスマッチが生じているとの指摘もあります。

調査では、若年層のモノづくり業界に対する関心度や心理的ハードル、仕事に求める価値観を定量的に把握。その結果から、今後、企業に求められる情報発信のあり方や、若手が最短で成長を実感できる環境整備についても考察を行いました。

**【調査概要】**

調査日程：2026年4月中旬

調査対象：20代～30代 男女 600人

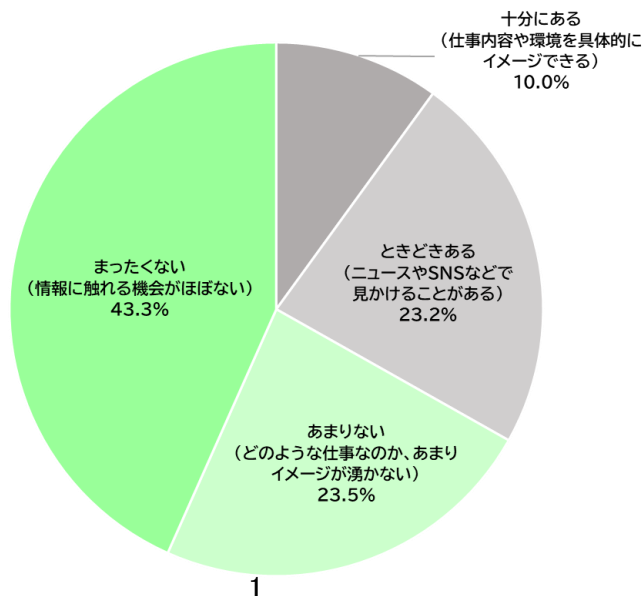
調査手法：インターネットによるアンケート記入

**約7割の若者が「モノづくり現場」の情報に触れる機会がない現状**

モノづくり現場の実際の働き方や技術の内容について、日頃どの程度情報に触れる機会があるかを聞いたところ、「あまりない/まったくない」と回答した人が合計で66.8%にのぼりました。若年層にとって、モノづくり業界は避けるべき対象である前に、日常生活の中で存在が可視化されていない状況が浮き彫りとなりました。

**モノづくり現場の実際の働き方や技術の内容について、日頃どの程度情報に触れる機会がありますか。**

【n=600/単一回答】



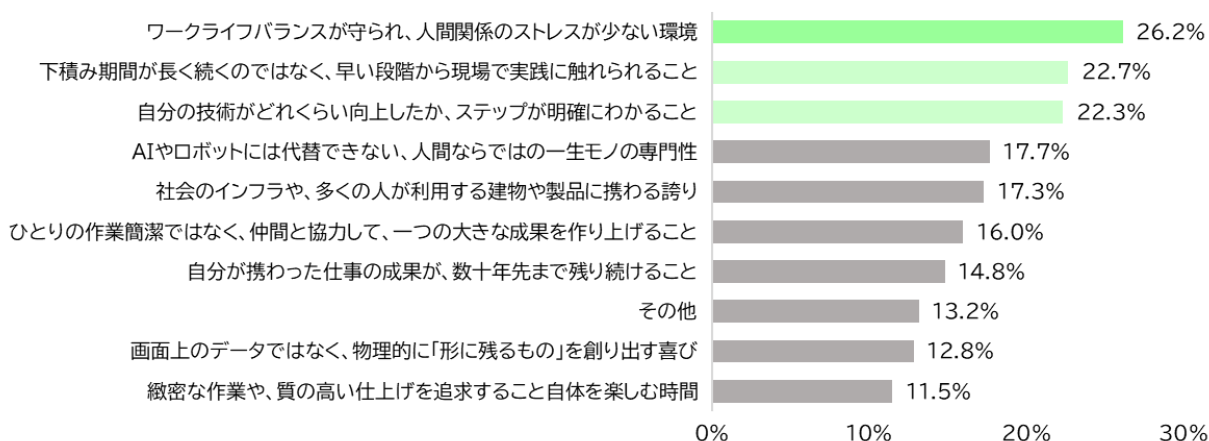
## WLB(ワークライフバランス)重視は前提 一方で「成長ステップの明解さ」も強力なフックに

仕事を通じて得られる魅力については、1位の「ワークライフバランスが守られ、人間関係のストレスが少ない環境（26.2%）」に続き、「下積み期間が長く続くのではなく、早い段階から現場で実践に触れられること（22.7%）」や「自分の技術向上ステップが明確にわかること（22.3%）」が上位を占めました。

これまでの「背中を見て盗め」と言った育成の文化ではなく、「タイプ（タイムパフォーマンス）」を重視しながらも確実に技術を習得したいという、現代的なキャリア観が明らかになりました。

### 仕事を通じて得られる次の要素のうち、あなたが魅力を感じるものはどれですか。

【n=600/複数回答】

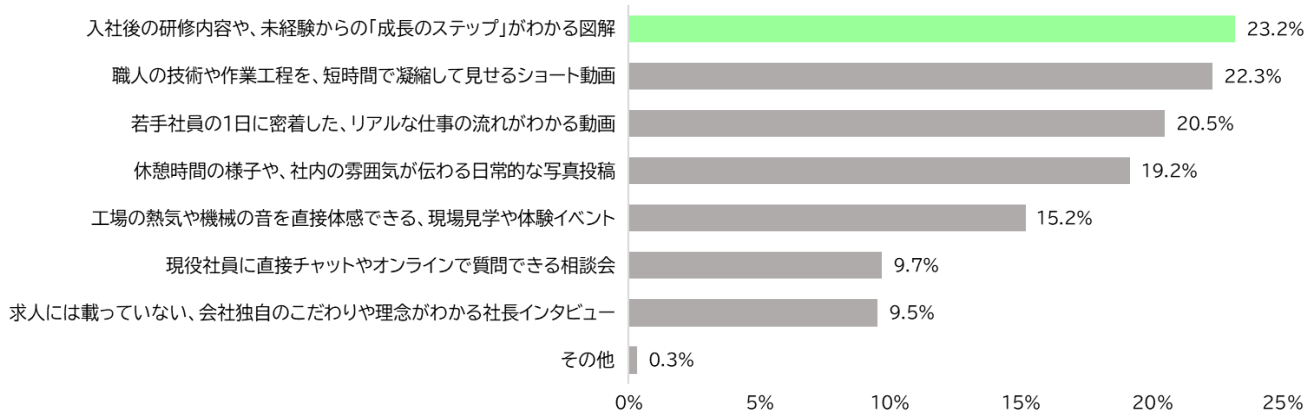


## 企業に求められるのは「キャリアの地図」となる情報の図解

若年層が業界の実態を知る上で、最も参考にしやすいと感じる形式は「入社後の研修内容や、未経験からの『成長のステップ』がわかる図解（23.17%）」でした。抽象的な「やりがい」を説く以上に、具体的な「教育の仕組み」を可視化することが、入職への心理的ハードルを下げる鍵になるといえます。

### モノづくり業界の実態を知る上で、どのような形式の情報が参考にしやすいと感じますか。

【n=600/複数回答】



## ●考察

### “見て盗め”から、“地図を渡す”文化へ

モノづくりの価値に魅力を感じる層が一定数存在する一方で、約 7 割が現場の実態を知る機会を持たないという現状が明らかになりました。これは、若年層が業界を避けているのではなく、土台となる情報に辿り着けない状態にあることを示唆しています。

若年層が求める「ステップの明解さ」というニーズは、自らの時間を確実に資産（技術）化したいという、極めて現代的で合理的なキャリア観の現れと言えます。彼らが恐れているのは厳しい修行そのものではなく、ゴールが不透明なまま、自分の時間が浪費されるリスクです。

これまで業界が美德としてきた「見て盗め」という文化は、結果として若者の足止めに繋がっています。求められているのは、精神論としてのやりがいや説くことではなく、未経験から一人前になるまでの道のりを図解や動画で示す、「仕組み（地図）」を明らかにすることだといえそうです。

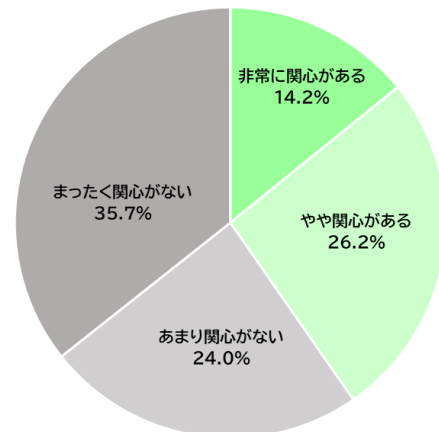
ステンレス株式会社は、自社の育成ステップをオープンにする取り組みを強化します。単なる採用活動を超え、技術継承のプロセスを透明化することで、若者が誇りを持って挑戦できるモノづくり業界の新しいスタンダードを構築してまいります。

## 【補足データ】

### ■自分の仕事が「形」に残る仕事への関心度

「非常に興味がある」「やや興味がある」を合わせると 40.3%に達し、約 4 割の若年層がモノづくり特有の価値に魅力を感じていることが判明しました。

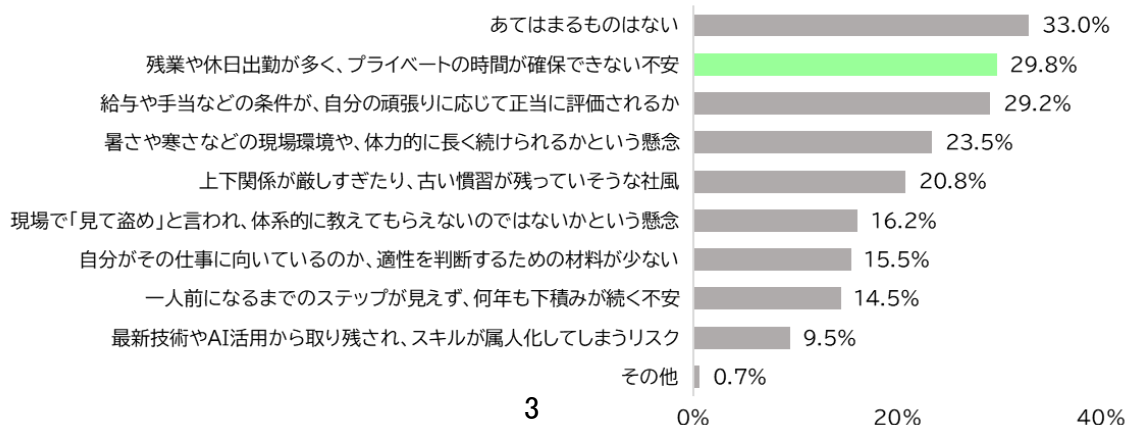
モノづくり現場の実際の働き方や技術の内容について、日頃どの程度情報に触れる機会がありますか。  
【n=600/単一回答】



### ■モノづくり業界を検討する際の懸念点（最大 3 つまで）

「残業や休日出勤（29.8%）」などが挙がる一方、33.0%が「あてはまるもの（懸念点）はない」と回答。これは特定の拒絶理由があるのではなく、検討材料自体が不足している実態を裏付ける結果となっています。

モノづくり業界（製造・建築・金属加工等）を就職や転職の選択肢として検討する際、懸念点やブレーキとなる要素は何ですか。【n=600/複数回答】



## 会社概要

ステンレス株式会社

所在地:〒920-0376 石川県金沢市福増町北 733 番地

代表者:代表取締役 福田祐一

事業内容:ステンレス・鉄・アルミ加工、建築施工、商業空間・内装施工

URL:<https://stainless.jp/>

### ※報道関係者様へのお願い

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。アンケートの詳細なデータをご要望の方はお問合せください。

### <報道関係者お問い合わせ先>

ステンレス株式会社 広報担当：田中

E-mail : tanaka@stainless.jp